

第2次柏市自殺対策計画について

- (1) 第2次柏市自殺対策計画 概要
- (2) 素案からの変更点
 - ① アンケート調査
 - ② 軽微な変更点
- (3) 第2次計画で新たに追加した主要事業
- (4) パブリックコメントで寄せられた意見



(1) 第2次柏市自殺対策計画 概要

- ▶はじめに ～市長メッセージ～
- ▶第1章 計画の策定にあたって
策定の背景，趣旨，計画の位置づけ，数値目標，SDGs，前計画の総括
- ▶第2章 柏市における自殺の現状・特徴と課題
統計資料，アンケート調査，特徴と課題，計画において重視する視点
- ▶第3章 計画の基本的な考え方
基本認識，基本理念，基本目標，対応の段階・基本施策・取り組み
- ▶第4章 柏市の自殺対策推進のための取り組み
取り組みの方向性，主要事業，成果指標
- ▶第5章 柏市の自殺対策の推進体制
- ▶第6章 参考資料

(2) 素案からの変更点 ①アンケート調査

アンケート調査で見た現状と課題の再整理

- ▶身近な方が悩みを抱えていると感じたことがある方が9割弱
- ▶研修参加者は40～60代が多く、学齢期の子の保護者は少ない
→**広くゲートキーパーの普及啓発が必要**
- ▶習得した知識を活用できた35.1%,できていない56.1%
- ▶実践する場がなく活用ができていない

→**知識の継続的な実践やスキルアップを行う場の提供が必要**

課題に対応する新規事業を導入（令和6年度～）

柏市ゲートキーパー普及啓発サポーター事業 を追加

- ・市民へのゲートキーパーの普及啓発、情報発信
- ・所定の研修に出席後、普及啓発活動を希望する方を「フキユーズ」としてボランティア登録
- ・サポーター同士の意見交換会を開催（居場所的な機能も）

知識の継続的ブラッシュアップ、地域での普及サポートを図る

柏市ゲートキーパー普及啓発サポーター (フキユーズ柏)



「フキユーズ柏」
って何ですか？

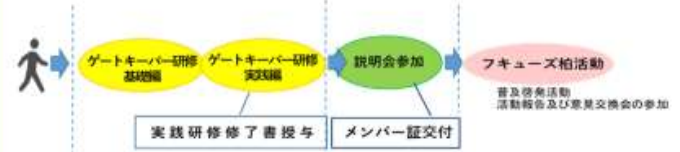


ゲートキーパーの
フキユーズ(普及啓発)に
参加するボランティア
のことです

< 活動内容 >

(1) 普及啓発活動
(2) メンバー間の情報共有・意見交換会の参加（年1回程度を予定）
※活動内容について現在調整中です。

< サポーター活動を希望される方 >
説明会に参加し、「フキユーズ柏 メンバー証」の交付をお受けください。



ゲートキーパー研修
基礎編

ゲートキーパー研修
実践編

説明会参加

フキユーズ柏活動
普及啓発活動
活動報告及び意見交換会の参加

実践研修修了書授与

メンバー証交付

説明会の日程は、令和6年4月以降にメールにてご連絡します。
参加希望者は、以下のフォームにアクセスして必要事項を入力してください。
説明会は令和6年7月下旬を予定しています。

連絡フォームQRコード



連絡フォームのURL（インターネット）
<https://logoform.jp/form/Mx28/467458>

柏市福祉政策課

メール：fukushiseisaku1@city.kashiwa.chiba.jp
電話：04-7167-1331 FAX：04-7164-3917

(2) 素案からの変更点 ②軽微な変更点

▶ 文言の修正

- ・ 児童生徒 → 子ども・若者
- ・ 特別な事情 → 様々な事情
- ・ 柏市ならではの → 本市における

▶ 表現に対して意見があったもの（自殺予防対策庁内連携会議 等）

- ・ 女性，妊産婦

多様性への配慮という視点から，表記変更への意見も見られたが
コロナ禍による自殺の傾向で「女性」はキーワードの一つ
→ 「女性」の記載は変えず，男性にも配慮する記載を追加

▶ 主要事業から「新規」の記載を削除（16事業）

- ・ 各所属の事業として以前からあったものを計画内に位置付けたものであり，令和6年度から立ち上げた事業ではないため

(3) 第2次計画で新たに掲載した主要事業

	対応の段階	基本施策	取り組み	事業名	頁
1	事前予防	(1) 予防の大切さの啓発と周知	①自殺対策に関する情報提供の強化	児童・生徒に関する保護者向け啓発物の発行	40
2		(2) 健康づくりの推進	②健康を保つための相談等の支援	インターネットゲートキーパー事業	43
3	危機対応	(1) 自殺対策に係る人材の養成	①自殺対策に係る人材の養成	自殺予防ゲートキーパー普及啓発サポーター	44
4		(2) 自殺未遂者の再度の自殺企図防止	①自殺未遂者への精神的ケアの充実	精神科病院からの退院後支援	46
5	強化すべき 課題への対応	(1) 子ども・若者を取り巻く環境の整備	③S O S の出し方・受け方教育の実施	児童のS O S の受け方に関する啓発	51
6		(2) 様々な事情を抱えた方への支援	②妊産婦への支援	1歳6か月児, 3歳児健康診査	54
7				周産期メンタルヘルスカンファレンス	54
8				妊産婦等生活援助事業	54
9			③生活困窮者への支援	健康管理支援事業	55
10		(3) 柏市における課題への対応	③地域におけるネットワークの強化	地域連携による消費者啓発事業の推進	60
11			④医療や行政の支援につなげる動き	犯罪被害者支援事業	62
12			⑤孤独・孤立を抱える方への支援	イベント開催事業	63
13				障害者等社会参加コーディネート事業	63
14				障害者等社会参加就労支援事業	63
15				図書館の活用	63
16				アルコール健康障害関連事業	64

(4) パブリックコメントで寄せられた意見

(意見概要) 2件4項目

	ご意見	回答
1	自殺対策には、学校、会社等以外に趣味でつながることができる居場所があるかどうかが大きく関連すると考える。居場所づくりの一環として、eスポーツを活用してはどうか。多くの人が集まり、共通の趣味や興味を持つ仲間を見つけることができ、多世代による交流やコミュニケーションの中で、同年代にはない視点からの意見をもらうこともでき、自殺予防の効果が大きくなる。また、家に居場所のない児童などが行きやすい公共施設となるのではないか。	社会的な孤独・孤立の状況は、誰かとつながりを持つことが重要であり、地域における居場所や交流の場づくりが求められているところです。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、実現可能性や実施効果の検討や関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。
2	児童生徒のいじめについて、なぜいじめた側のケアは入っていないのか。	児童生徒の環境に応じて、自殺対策に資する教育・相談・研修等を推進する必要があります。本計画において「強化すべき課題への対応」として「子ども・若者を取り巻く環境の整備」を基本施策とし推進します。すべての児童生徒において、心の健康やいのちの大切さについて学ぶ機会を充実させ、状況に応じた支援を行い、安心した生活が送れるよう取組を進めてまいります。
3	親の子育て力の向上に向けて、すべての保護者（男女ともに）が出産後、入院期間中に一定の子育てに関する講習を受けることを義務としてはどうか。	子育てをする保護者に対して、ストレスや不安の解消に向けた支援を実施することを推進しており、本計画の基本施策に「妊産婦への支援」を位置付けています。今後、取り組みを進めるにあたり、関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。
4	学校教育について、多様性を受け入れる心の教育や将来働けるようにしっかりと教育を受けるとすることが重要。一斉授業では、内容に付いていけず脱落する子どもが出てしまうため、一人ひとりが学びたいことを学びたい場所で自分のペースで学ぶ方法を模索してもよいのでは。そのような柔軟な学びの場が、多様性を尊重し、自分の個性を伸ばし、学ぶ意欲へとつながり、社会へいきいきと出ていく。それが自殺者を減らすことにもつながる。	子どもや若者に対する自殺対策は、現在における自殺予防のみでなく、将来の自殺リスクを低減させることにもつながると考えており、本計画の基本施策の一つに、子ども・若者を取り巻く環境の整備を掲げています。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、学校教育関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。

今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、
関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。